



～地方独立行政法人山口県立病院機構作業療法部門合同研修会～

マインドフルネス作業療法(MBOT)から学ぶ 作業のもつ力

今このとき
あるがまま
うけいれる

目的	作業療法士として分野に関わらず必要とされる知識や技術を学ぶことにより、疾患種別に関わらず、より良い医療が提供できるスキルを身につける。
日時	2018年6月30日(土) 受付 09時00分 開始 09時30分 ～ 終了 16時30分
場所	地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立こころの医療センター会議室 宇部市東岐波4004-2 電話 0836-58-2370
講師	織田 靖史 氏(玉野総合医療専門学校作業療法学科専任教員)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・マインドフルネスの基礎知識を得る ・マインドフルネス作業療法(MBOT)を学ぶ ・演習)作業活動を通してマインドフルネス作業療法を体験する
定員	60名
参加申込	<p>2018年6月23日までに ①氏名 ②職場 ③職種 ④連絡先 を明記のうえ 下記アドレスまでお申込みください。 (原則, 先着順とし, 定員を超えた場合はお断りすることがあります)</p>
申込先	山口県立こころの医療センター 地域連携室 作業療法士グループ yamaguchi.kenritu.ot@gmail.com
参加費	山口県立病院機構職員 1,000円(弁当・飲み物・資料・材料費込) その他の参加者 2,000円(弁当・飲み物・資料・材料費込)
マインドフルネス作業療法(MBOT)とは	<p>マインドフルネスはGoogleなどの大企業でも創造力や集中力など生産性を高める観点からも注目されており、医学や心理学など様々な分野で導入されています。</p> <p>MBOTは、この作業のマインドフルネス要素に注目した作業療法の介入の1つであり、主に感情調整が難しい患者に対する治療法として、講師の織田氏を中心にして開発されています。作業活動(手工芸, 芸術活動, 身体活動, 日常活動など)を通して立ち現れる身体感覚やこころの状態に意識を向け、感じるままに感じることを促すアプローチです。</p>
主催	地方独立行政法人山口県立病院機構山口県立こころの医療センター
問合せ先	山口県立こころの医療センター 電話 0836-58-2370 担当 地域連携室 作業療法士グループ 平山, 堺

